

平成20年5月15日

## 「環境と人にやさしいゴルフとゴルフ場」調査研究を開始

### 第一回は「ゴルフと健康とメタボ対策」

約1000万人のスポーツとしてのゴルフ、そして国民1人当たり20㎡を占める緑地としてのゴルフ場は、我が国において環境や健康など、様々な意味で、大きなウエイトを占めています。

(社)golferの緑化促進協力会(GGG。会長：児島仁、理事長：大西久光)は、このたび、「環境と人にやさしいゴルフとゴルフ場」と銘打って、環境や健康などゴルフの社会性と意義について、2年間にわたり調査・研究を行い、広く周知していくこととしました。

各テーマについて、平均月1回のペースで公表出来ればと考えておりますが、第一回は「ゴルフと健康とメタボ対策」([http://www.ggg.or.jp/invest/58\\_S1.pdf](http://www.ggg.or.jp/invest/58_S1.pdf))をテーマに、独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進プログラム 田畑泉様に執筆をお願いいたしました。

調査研究結果は、(社)golferの緑化促進協力会のホームページ(<http://www.ggg.or.jp/>)に掲載するほか、月刊「ゴルフマネジメント」でもご覧戴けます。

本件問合せ先

(社)ゴルフの緑化促進協力会 担当：西本、麻生  
電話；TEL：03-3584-2838 FAX：03-3584-2847